



祝 創立150周年 (1873~2023)

長尾小学校だより

1月号

令和6年(2024年)1月9日

宝塚市立長尾小学校長 古芝 道敏

明けましておめでとうございます

令和6(2024)年 甲辰(きのえ・たつ)

皆様お揃いで、良き新年を迎えられたことと思います。旧年中は、本校教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今年一年が皆様にとって、良い年となりますことを願っております。

さて、今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」です。「甲辰」の持つ意味ですが、「甲」は十干の最初であり、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この二つの組み合わせである「甲辰」には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良さを表しているといえそうです。

今日から3学期が始まりました。子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。3学期は1年間のまとめの時期であり、次の学年へのステップの時期です。児童一人一人が、新年の目標をもって臨んでほしいと思います。そして、その目標を達成するためには、日々の努力の積み重ねが肝心です。「甲辰」の年の持つ意味のように、子どもたち一人一人の努力の芽が、4月新年度の進学・進級に向けて成長していくことを願っています。

防災・安全を考える ~命を守るために~

皆様ご承知のように、今年は年明け元日に能登地方で震度7の地震が発生し、2日には、羽田空港での航空機事故、そして、3日には北九州市の繁華街での火災発生と、正月3が日に各地で大きな災害や事故が起きました。能登半島地震、航空機事故で亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願っております。

ニュースから、今回の航空機事故で旅客機の乗客は、全員が避難し死者が出なかったと知りました。目を疑うような事故の映像でしたが、全員が無事に脱出できたことに安堵するとともに奇跡的だと言われています。報道によりますと、このことには海外のメディアも絶賛したそうです。また、航空機事故発生時に備えて、CA(客室乗務員)の判断指示が非常に重要であり、CAは緊急時に脱出する避難訓練を日ごろから入念に行っていた、更に、乗客がパニックにならず、指示を聞いて冷静に協力して行動できたとのこと。緊急時に命を守るため行動として、学ぶべきところが多々あります。

1月17日(水)には、本校で地震避難訓練を実施いたします。災害時や緊急時に命を守るための学習を行い、全員でしっかりと考える機会にしたいと考えます。

1月行事予定

日	曜日		日	曜日	
1	月	元日 冬季休業日 学校閉鎖	17	水	地震想定避難訓練
2	火		18	木	発育測定（3年） <u>定時退勤日</u>
3	水		19	金	発育測定（3年） 社会見学（アサヒ飲料・朝日新聞）5年2組
4	木	<u>定時退勤日</u>	20	土	
5	金		21	日	
6	土		22	月	発育測定（2年） 社会見学（アサヒ飲料・朝日新聞）5年1・4組
7	日		23	火	社会見学（アサヒ飲料・朝日新聞）5年3・5組 発育測定（2年） <u>教材費引き落とし日（再）</u>
8	月	成人の日	24	水	発育測定（1年）
9	火	始業式 集団登校（～12日） <u>教材費引き落とし日</u>	25	木	長尾中・南ひばりガ丘中校区ブロック研究会 <u>定時退勤日</u>
10	水		26	金	発育測定（1年） 掃除道具交換
11	木	発育測定（5年） <u>定時退勤日</u>	27	土	
12	金	発育測定（5年）	28	日	
13	土		29	月	発育測定（6年）
14	日		30	火	入学説明会 中学校生徒会交流（6年）
15	月	給食開始 全校朝の会 全校音楽 地産地消出前授業（3年）性の教育（5年） 発育測定（4年）	31	水	発育測定（6年） クラブ活動（5・6年）
16	火	発育測定（4年） 一斉防犯活動			

お知らせとお願い

2月の主な行事予定

1. スクールカウンセラー出勤日について

本校では週1日スクールカウンセラーの上好あつ子先生が来校されます。10時から16時頃まで面談可能となります。1月は12日（金）19日（金）26日（金）が来校日です。面談を希望される方は、事前に担任または特別支援コーディネーター（三枝教諭）まで連絡（88-2031）をしてください。

2. たかが「あいさつ」、されど「あいさつ」

本校の子ども達は、良くあいさつをするというお褒めの言葉をいただくこともありますが、子ども達全員が進んでできている訳ではありません。相手から声をかけられるときだけ、小さな声で返したり、恥ずかしそうにうつむきかげんで返したりする子どももいるのが現状です。私たちは一人でも多く、自分から進んで元気にあいさつができるようになってほしいと願っています。たかが「あいさつ」と思われるかもしれませんが、それがしっかりできるかできないかで、

その人への見方が大きく変わります。「あいさつ」は、一人の人間として、自立して生きていくために身に付ける大切な能力の一つです。では誰がそれを教えるのでしょうか。学校もその役割の一翼を担っていますが、家庭もそれを担っています。「あいさつ」はほんの一例で、「言葉遣い」「身だしなみ」「道徳的な規範意識」など、子どもが一人の人間として生きていく上で身に付けるべき力は、学校と家庭の両輪で、時期を逸せず子どもに教えなければなりません。保護者のみなさんの役割は自分が学んだこと、身に付けたことを自分のお子様に伝えていく文化の継承者だと考えます。これを機会に、ご家庭で「あいさつ」等について考えてみませんか？

1日（木）3年生全校研究会 全校音楽

*3年生以外は、給食終了後下校

2日（金）校外学習（2年：キッズプラザ大阪）
古紙回収

5日（月）全校朝の会

7日（水）消防署見学（3年）

9日（金）校外学習（6年：京都）

13日（火）一斉防犯活動

16日（金）掃除道具交換

20日（火）参観懇談会（4～6年）

21日（水）参観懇談会（1～3年）

29日（金）古紙回収